

## 寒玉系キャベツの秋まき及び冬まき5月どり作型の開発

加工業務用適性の高い寒玉系キャベツの4～5月どりは、抽だいや不結球等によって生産が安定しません。そこで、5月どりについて、寒玉系キャベツの適品種を用いた新作型を開発しました（図1）。

5月どりに適した寒玉系キャベツ品種（図2）を用いて、秋まきでは10月中旬播種、冬まきでは12月から2月播種（加温育苗、最低夜温13℃）で露地栽培することにより、5月上旬から6月上旬にかけて連続して収穫できます（図3）。いずれも花芽分化はみられませんが、裂球しやすいため収穫時期には注意が必要です。

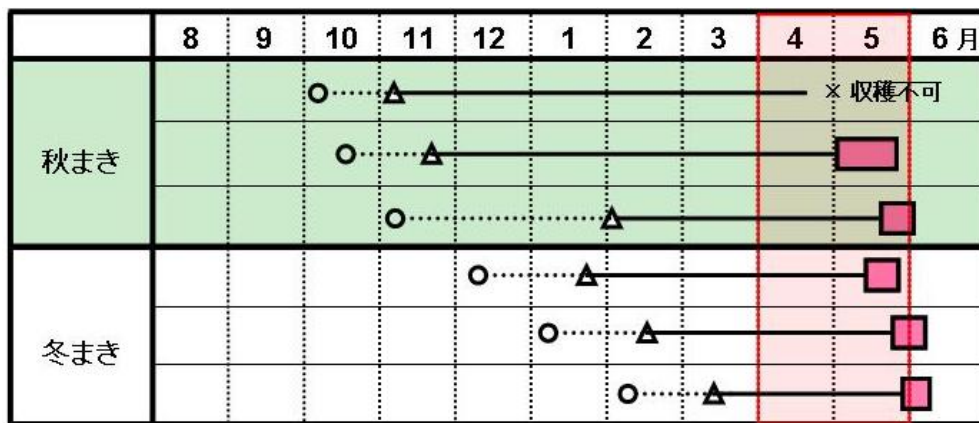


図1 5月どり寒玉系キャベツの基本作型

○：播種、△：定植、□：収穫期



図2 5月どり寒玉系キャベツの有望品種

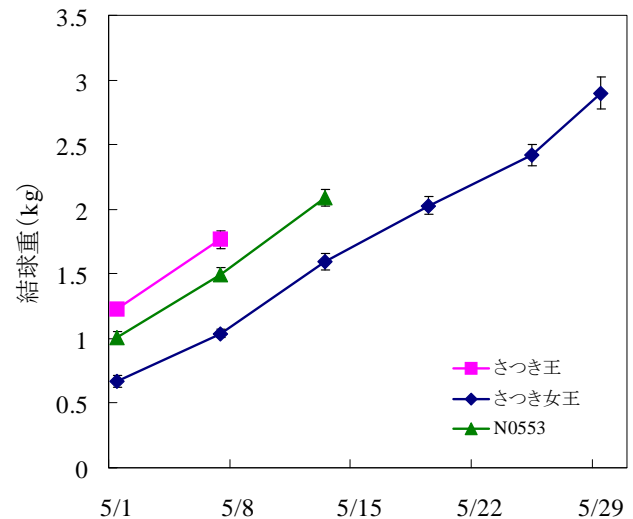


図3 結球重の時期別変化